



## 幼稚園攻撃

判つた様で判らないのは幼稚園問題でせう。フレ  
 ーベルが始めて幼稚園を創立した當時は無論の話  
 我國に於ても明治九年に始めて女子高等師範の附屬  
 として設けられてから種々様々な批難やら攻撃や  
 らが一時は中々に盛に盛に盛に盛に盛に盛に盛に盛に  
 様な、しない様な風で何時か立消えになつたと思  
 つたら昨今又々此問題が再興して來た様で去る六  
 月の京坂神聯合保育會が京都で開催された時に京  
 都大學の谷本博士は此問題に就いて論議されて自  
 分等中等社會の人士には幼稚園は必要でないとい  
 はれたそをであるそして其際獨逸國ゴータ師範學  
 校の教授オーガスト、ケーラーの書いた十五ヶ條  
 の幼稚園攻撃の中七ヶ條に就いて述べられたそを

で會員の某氏よりは其餘の箇條と云ふのは何んな  
 ものかと云ふ質問が参りましたが是は去る明治卅  
 一年の四月本會第三回の常集會で客員野尻精一  
 氏が詳しく演説されて居るので本會第三年報告に  
 記録して居りますから當時の會員諸君は既に御存  
 じの事と思ひますが、折角の御質問でもあり且つ  
 は新會員も多數の事でありましてから茲に當時の演  
 説筆記を再録致さうと存じます。歴史は繰り返し  
 て居ると申しますから別段陳腐の譏もあるまいと  
 存じまして(以下演説筆記)  
 幼稚園に關する書物は世間に多くありません。獨  
 逸のゴータ女子師範學校教師であつたオーガス  
 トケーラーの著した「ゼブラキンスキンデルガー  
 デン」と云ふ書物は、實際の方法を記したもので  
 あります。此書は三冊あつて、一二の二冊は幼稚  
 園保育法で恩物の取扱遊嬉を説てあるし、三は幼  
 稚園の教育學で保育に付ての理論をかけたもので  
 あります。今日は此三の巻につき處々考をも加へ

て御話しやうと存じます

抑幼稚園が世間にあらはれたのは新しいことで  
フレイベルが自己の建てたる保育場に幼稚園の名  
を付けたのは千八百四十年であるから今より五十  
六年前のことである爰に於て始めて幼児を保育す  
る場所出來て世間で種々の批評が起つた其中には  
批難する人も少くない又之に反してフレイベルの  
考を賛成し批難に對して辯護する人も少くなか  
つた今此に於て其批難辯護を話すも面白きことと  
あらんと思ふ尤も種々の人から云ひ來りしものを  
集めたものであるから其説の衝突することもあり  
ます先づ批難に付ての説を擧げると、

一 幼稚園は害物である善からざるものである其善  
からざるものゝ内にも止むを得ざるものがある  
例へば監獄は善からざるものだけれども已を得  
ざる必要あつて設けられて居る然れども幼稚園  
は必要なる害物でない、不必要なる有害物であ  
る小兒依托場 職人の小兒の保護所、又幼兒學

校と稱するものは、早くより歐洲にありて必要  
なるものであるされば幼稚園は害物なるのみな  
らず必要でない、

二 幼稚園は凡て富貴なる人の幼児の爲にて母親を  
して其本分たる幼児の教育を怠らせ母親に横着  
を教ふるものである、

三 幼稚園廣く普及すれば家庭の教育が廢せられて  
しまふ何となれば幼稚園に幼児を通はしむれば  
母親が己の横着を助けられて子供の教育に心を  
盡さない故に幼稚園廣く行はるれば家庭の教育  
は廢せられて天然自然幼児の教場なる家庭のよ  
き影響を三四才に止めて受しめないやうになる

四 幼稚園は遊嬉をする學校である抑遊嬉學校なる  
ものはなき筈である故に幼稚園は諺の分らぬも  
のである、

五 幼稚園の保育は子供らしき處を早く失つて天然  
自然の無邪氣にして有の儘に觀察せる所を妨ぐ  
無邪氣の遊に付て色々に考へしめ年少の内より

小利口の者となす、  
 六幼稚園は幼児を或定りたる型の中に入れフレ  
 ベルの考へた或一種の偏頗なる者にするから幼  
 児はたとしく従順なる者となれども意地なき  
 臆病者となる、

七フレibelは「キンデルガーデン」と名けたる  
 自己の幼稚園に於て幼児が觀察し又遊嬉せる簡  
 單なる事物を自己の考にて種々の理屈をつけ拵  
 へ事にしたのである實に誤りたる事である、  
 八幼稚園に於ての教育法は理解し難き陰秘密な  
 る符號の如きものを用ふる事が多い是はフレ  
 ベルの理解しがたき主義の少からず批難と一  
 は幼稚園でする業の上に就て、例へば箸を二本  
 ならべて川があるとか又橋がかゝれりとか云ふ  
 を理解しがたき符號の如きものと云ひたるなり  
 九幼児が自然に砂を持ち又其他種々の遊びをなせ  
 るを自然に任せ置く方が遙かにフレibelの巧  
 なる考へよりも價値が多い、

十幼稚園の唱歌は凡て田舎にて謠ふ野卑なる歌に  
 類似してゐる、

十一幼稚園では幼児が自己の遊嬉のことを謠ひな  
 がらなせとも、かくする時は幼児を利己主義に  
 て私慾を養ふ且又自己の現になせることを謠ふ  
 は寫生的にも風韻に乏しき俗なり、

十二幼稚園に於て幼児に遊嬉を教ふれども是は誤  
 りたる事なり自然幼児自ら好でなせばこそ遊嬉  
 なれ然るを幼稚園にてなす如く教へてなさしむ  
 るならば眞の遊嬉ではない、

十三幼稚園より來る幼児は沈着なる仕事を嫌ひて  
 遊びを好み學校に入りてよりも注意薄く結果が  
 悪るゝ、

十四幼稚園は植物を培養する「ムロ」の如く自然  
 に時を得れば咲く花を人工にて早く開花せしむ  
 るやうで自然の發達に背いてをる、

十五幼稚園は國家宗教の爲に害がある、幼稚園の  
 保育法は社會主義を幼児に注入する又幼稚園は

宗教をはなれて教育せんとするを以て耶蘇の爲に害がある故に國家より嚴禁すべきものである斯く種々の方向より批難して居る就中、第十五の批難については元よりフレーベルの教を誤解してから起つた説であるけれども政府に於ても其心配があつて千八百五十一年にプロイセンに於ては幼稚園を嚴禁し千八百八十年に至りて之を解くやうになつた、

右の批難に對しては一方の賛成員より種々の辨護をして居る其説を擧ぐれば次の様なものである、  
 一幼稚園は今日必要にして人間に幸福を與ふる組織のものである之に依て幼兒をして心身共に適當に教育する上に付ては家庭を助け幼兒の發達を進むるに最も必要なるものである若しこれなくは今日多くの家の兒幼をして下婢子守路傍等の教に任さなければならぬ然るに幼稚園があつて始めて之より助け出すことができるのである  
 二幼稚園は富貴の人のみならず凡ての幼兒を教育

する處のものである、

三幼稚園は家庭の教を廢する批難があるけれど決して然でない幼稚園教育は家庭教育上によき影響を與へ正しき教育の精神を注入するものであるそは幼兒成長して後のみならず幼稚園に通ひ居る幼兒あらは其幼兒、幼稚園に於てよき教を受くるを以て其精神、親及兄弟に及ぼし一般に家庭の教育を進めることができる、

四幼稚園は家庭教育を廢してをらないのみならず一週間に二十五六時間兩親たる者職業又は家事の爲に十分幼兒を世話すること能はざる僅少の時間のみ幼稚園に於て教育するのであるから幼稚園ある爲に家庭の教育を廢するといふ説は誤つたことである、

五幼稚園は遊嬉する學校であるけれど幼兒の精神を適當に發達せしめ幼兒自然に有する活動の傾きを自然の順序に従て發達せしむるもので學校の如く教授するものではない、

六幼稚園は子供らしき所を失ふといふ批難があるけれど然ではない幼稚園こそ幼児の子供らしき精神を一層長く維持す若し幼稚園がなくて幼児常に大人の側にあつたらば早くから大人めいて子供らしき所を失ふものであるが、幼稚園では同年輩の幼児が相集るから長く子供らしき所を保つことができるものである、

七幼稚園は幼児を型にはめ自然の發達を妨ぐると云ふ批難があるけれど之は事實に違ふものである尤も善き事を教へて惡より遠ざけ躺をなすを型にはめると云へは型にはめるに相違なきも幼稚園では正しき道理に叶ひたる規律の外は幼児か特別の性質により自由になすを妨ぐるものでもない或人の批難の如く一種の型に入れたる人間を作り出すものではないのである、

八フレーベルはむつかしき工夫をして幼児自然の勇氣を妨げると云ふ批難があるけれど幼児の仕事はフレーベルの發明ではない昔から幼児自

然にしてゐる遊嬉をならべたるもので決して自然に背いては居ない、

九且又遊嬉を教へ恩物を與ふる仕方は古から母親が自然に用ふる方法でフレーベルの作りたるものではない、

十幼稚園に於て謠ふ歌、並に謠ひながら遊嬉をなすは生むる繪の如きものである之によりて幼児が人間の生活に必要な事事の實物教授を受くるもので其働きを實地に觀察することを得るものであるから之に對する批難も考なき批難である遊嬉を教ふるはわるしと雖、教へたりとて差支はない、

十一幼稚園の仕事は教へ又教へたる上にて幼児に自由になさしむるもの出来るもので教へたりとて害はない、

十二幼稚園は「ムロ」の如しといふされとも幼稚園には常に暖かき春風が吹てゐる、

十三幼稚園に於ては幼少の時より同年の兒と交際

せしめ早く社會の生活を覺えしめ又幼稚園に於ては早くより耶穌の精神を幼児に入るゝを以て國家宗教に背くと云ふは誤りたることである、幼稚園の發明は新しきを以て批難又辯護交々起つて居る、早くから幼稚園を賛成する人の中には政治家、宗教家、學者等種々の社會の人である之によりても幼稚園は偏頗なる作り物ではなくて教育上實際の必要あることは明かである故に追々幼稚園の賛成者を増加して至る所に其設があるされど只其名のみでフリーベル本來の主意に適應するものは云ふことができないさればフリーベルの主意に付て明にするのが必要である尤も日本ではフリーベルの主意にのみ依ることができないけれど、フリーベルの思想を理解することは必要である、されどフリーベルの幼稚園に付ての思想を詳しく述ぶる時もなく且實際從事する方々であるから今は其大要を述べておくだけである云々、

## 一般教育か特殊

教育か 和田 實

幼稚園の缺點とか幼稚園の攻撃とか云ふ聲が一時盛んであつた昔の事ならいざ知らず、今時幼稚園其物の價値を危む人があらうとは思はなかつたのは是は又何とした間違ひにや幼稚園の効果を危む人が今の教育世界にあらうとは思はなかつた。然も夫れが幼稚園世界にもあらうとは思はなかつた。然も夫れが幼稚園世界にもあらうとは思はなかつた。斯る浮はつた考を持つた所の保姆が此幼稚園世界にある以上は逆も我幼児教育は發達することが出来ない。そこで我輩は思ふ存分之を攻撃して見たいと考へたので秃筆を呵して書き出しては見たが生來の筆不省、鋒先はいつかな動かない。

余事は措いて本題に入りらう先づ然る所に一人の最もらしき保姆の先生ありきと思召せ、此人或時